

大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(12/16)同様に少なく、海域全般において珪藻類の発生は少ない状況です。窒素は、陸水の影響が見られる海域地先で5~19 $\mu\text{g at/L}$ 台、明石海峡部の海水の影響が見られる林崎新漁場以東で4~6 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域で2~3 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均14.6°C (平年比1.5°C、昨年比2.1°Cともに高い)。(塩分) 平均32.43psu。前回(32.39)より0.04psu高い。(珪藻、栄養塩)

コシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は、海域全般に0~40細胞(前回値:0~50細胞)であった。また、海域全般に小型珪藻のキートセロス・スケレトネマがわずかに確認され、別府漁場以西では、大型珪藻のユーカンピアがわずかに確認された。

海域地先(魚住鋼管~別府漁場)、⑩では陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.8	14.6	13.1	12.5
窒素	5.9	5.4	4.9	3.8
リン	0.57	0.54	0.56	0.43

(12/16) (12/25)

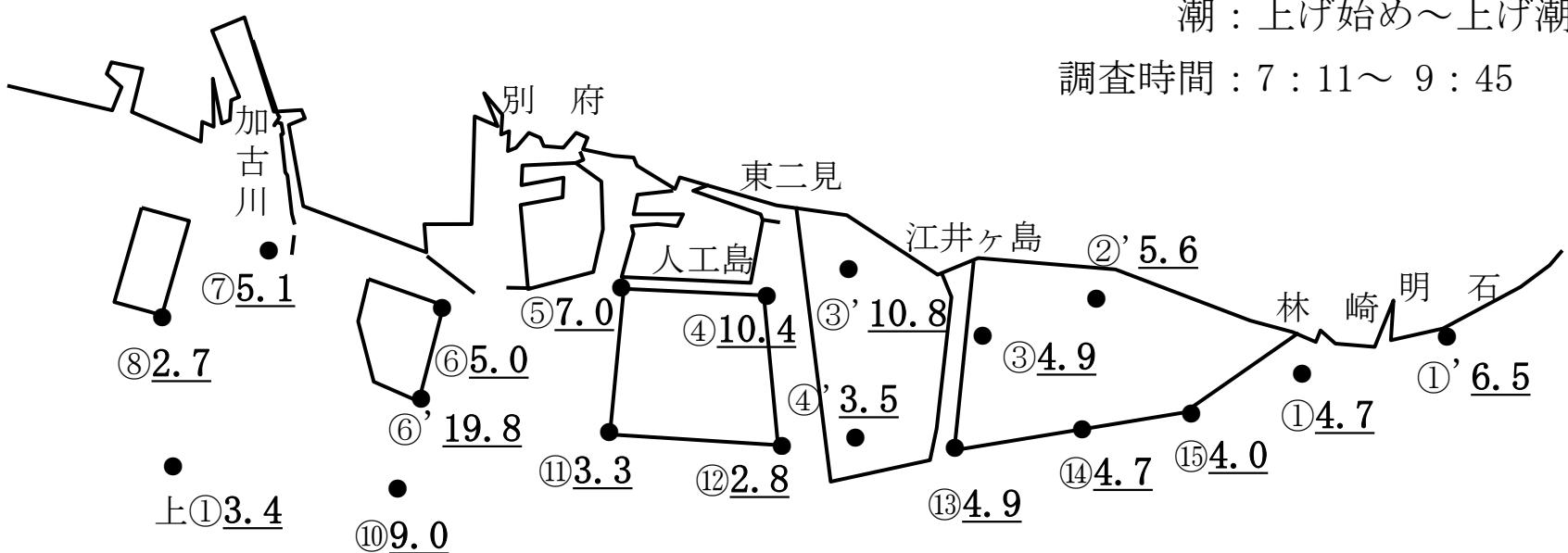
西播地先		伊保地		伊保沖		水温	
水温	13.9°C	伊保地	水温	伊保沖	水温	13.9°C	
窒素	10.5		窒素		窒素	5.2	
リン	0.40		リン		リン	0.38	
白浜地		水温	14.0°C	白浜沖	水温	13.6°C	
窒素	3.1		窒素		窒素	2.3	
リン	0.42		リン		リン	0.37	

2025年12月25日調査

栄養塩(窒素)図

潮: 上げ始め~上げ潮

調査時間: 7:11~9:45



水温図

